

46 文化・生涯学習・スポーツの振興

(1) 区民の文化芸術・生涯学習活動を支援する

●文化芸術・生涯学習施策の推進

『ビジョン』の分野別計画である「みどりの風吹くまちにあ・そ・ぶ～練馬区学びと文化の推進プラン～」(27年6月策定)に基づき、文化芸術および生涯学習施策の様々な取組を進めている。

28年度は、生涯学習センターの向山庭園を含めた運営体制の検討・準備や、文化・生涯学習情報ポータルサイトの開発を行った。

●文化芸術の振興に関する事業

身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、「絵画展示」と「野外彫刻設置」の2つの事業を行っている。

また、28年10月に「みどりの風 練馬薪能」を開催した。

●練馬区文化振興協会

区民の自主的な文化活動の促進を図り、豊かな区民文化の創造に寄与することを目的に、昭和57年9月に財団法人として設立した。その後平成24年4月に公益財団法人に移行した。

28年度から、日本を代表するヴァイオリニストの大谷康子氏を理事長に迎え、石神井公園ふるさと文化館、練馬区立美術館、練馬文化センターおよび大泉学園ホールの指定管理者として、魅力ある文化芸術の発信に努めている。

1 区民文化の向上および振興のための事業の実施

- (1) 公演事業 (4事業)
- (2) 地域活動事業 (42事業)
 - ① アトリウムミニステージ
 - ② まちなかコンサート
 - ③ 演奏家の派遣・あっせん
 - ④ 小学校での狂言ワークショップ
 - ⑤ 地域イベントへの参加
- (3) 練馬文化センター友の会事業
会員数 1,201人 (28年度末現在)

2 区民の自主的な文化活動の促進に関する事業の実施

- (1) 区民参加事業 (5事業)
 - ① 歌舞伎プレセミナー
 - ② 小中学生の歌舞伎塾～入門編～
 - ③ ダンスワークショップ
 - ④ 演劇ワークショップ

⑤ ねりま若者文化祭ライブパフォーマンスねりパフォ 2017

(2) 人材育成活用事業

- ① 第31回新人演奏会
(声楽・木管楽器・弦楽器部門)
- ② ゆめりあワンコイン・コンサート (4事業)
- ③ 練馬区演奏家協会事業

(3) 連携支援事業

- ① 文化活動支援補助
- ② 練馬交響楽団の活動支援
- ③ 舞台芸術支援 (6事業)
- ④ 区内三大学連携 (4事業)

(4) 文化芸術情報発信事業

●練馬文化センター

区の文化芸術拠点として区民文化の創造と発展に寄与するため、昭和58年4月に開館した。

なお、指定管理業務として音楽、伝統芸能などの公演事業を実施している。

【練馬文化センターの利用状況】

28年度

	大ホール	小ホール	ギャラリー
入場者数(人)	283,554	121,155	11,534
利用件数(件)※	769	789	171
	リハーサル室	集会室	計
入場者数(人)	56,742	16,844	489,829
利用件数(件)※	2,334	1,104	5,167

※:午前・午後・夜間の各区分を1件とする(ギャラリーは1日を1件)

●大泉学園ホール (大泉学園ゆめりあホール)

区民文化の創造と発展に寄与するため、大泉学園駅北口再開発ビル[ゆめりあ1]内に、14年2月に開館した。

なお、指定管理業務として音楽、伝統芸能などの公演事業を実施している。

【大泉学園ホールの利用状況】

28年度

	ホール	ギャラリー	計
入場者数(人)	49,292	9,715	59,007
利用件数(件)※	906	150	1,056

※:午前・午後・夜間の各区分を1件とする(ギャラリーは1日を1件)

●美術館

区民の美術に関する知識および教養の向上を図り、区民文化の発展に寄与することを目的に、昭和60年

10月に開館した。

美術に関する学識経験者等により構成する美術館運営協議会を設置し、幅広い意見を反映した活動を行っている。

1 展示事業

年間4～5回の企画展や、美術館の所蔵作品によるコレクション展などの展覧会を開催している。また、地域に根差した美術館として、区内在住の美術家協会会員の作品を紹介する「練馬区美術家協会展」や、区民の公募作品による「練馬区民美術展」を開催している。

〔企画展〕 28年度

展覧会名	会期	観覧者数(人)
横井弘三の世界展	4/17～6/5 (43日間)	6,637
しりあがり寿の現代美術 回・転・展	7/3～9/4 (55日間)	11,682
朝井閑右衛門展	9/18～11/13 (49日間)	5,571
粟津則雄 コレクション展	11/19～2/12 (69日間)	4,626
田沼武能肖像写真展 お蔵出し！練馬区立美術館 コレクション展	2/23～4/9 (40日間)	5,597

2 教育普及事業

展覧会関連講座を始め、各種講座やワークショップを実施している。また、「スクールプログラム」による団体鑑賞や職場体験等の受入れ、小・中学校の教員を対象に学芸員による作品解説を行うティーチャーズデイの実施、鑑賞学習教材の貸出しなど、学校との連携を深めている。

3 美術作品の収集

区にゆかりのある優れた作品の収集を行うとともに、幅広い視野から近・現代の優れた美術作品を系統的に収集している。28年度末の全所蔵数は7,430点である。

4 美術の森緑地

27年3月に美術館の前庭にあたる緑地をリニューアルし、動物彫刻等32体を野外展示している。

●石神井公園ふるさと文化館

区の伝統文化を生かし、新たな地域文化を創造するため、観光振興にも寄与する博物館機能を有する施設として、22年3月に開館した。

また、隣接公園内に「旧内田家住宅」（区指定文化財）を移築復元し、建物内部も公開している。

26年4月1日に区立石神井松の風文化公園管理棟内に分室を設置した。

館の事業には区民サポーター92名が携わり、区民と館を結ぶ役割を担う存在として活動している。28年度は、分室を含め延べ213,336人が来館した。

1 展示事業

(1) 常設展

「江戸・東京の近郊の暮らし」をテーマに、練馬区の歴史・民俗・伝統文化の特色を伝える展示を行っている。分室では、練馬ゆかりの文化人に関する展示事業と作家・五味康祐氏が愛用したオーディオの展示などを行っている。

(2) 特別展

区の歴史などのほか幅広い視野からテーマを設定した特別展を28年度は4回開催した。

〔特別展〕 28年度

展覧会名	会期	観覧者数(人)
【分室】 「作家と動物」	4/9～6/26 (68日間)	10,644
「いぬいとみこーながいながいお はなしをみんなに」	6/25～8/14 (44日間)	2,277
「夢の黄金郷（エルドラド）遊園 地 ―思い出のメリーゴーランド」	9/17～11/13 (50日間)	4,232
【分室】 「田沼武能肖像写真展 ―時代を 刻んだ貌」	2/23～4/9 (40日間)	4,661

注：分室は無料展示

(3) 企画展

収蔵資料からテーマを決めた企画展を28年度は4回開催した。

〔企画展〕 28年度

展覧会名	会期	観覧者数(人)
収蔵品企画展 「ねりま発！日本のアニメ ―日本の アニメはここからはじまった」	4/23～6/12 (44日間)	6,554
【分室】コレクション展 「和の暮らし 和のことば」	7/3～10/23 (97日間)	7,549
【分室】コレクション展 「『柳生もの』の系譜 ―時代小説 へのいざない」	10/29～2/12 (87日間)	9,031
収蔵品企画展 「しょうゆ・みそ・さけ」	2/4～3/26 (44日間)	7,182

注：いずれも無料展示

(4) わがまち練馬情報コーナー 1・2

区内の自然・名所や、伝統工芸、ねりコレなどの産業情報、区民の創作作品を展示、紹介している。

2 教育普及事業

区の歴史・民俗・伝統文化等に関する講座、季節体験事業、親子でのふれあいを楽しめる催しなどを実施している。分室では、貴重なオーディオを用いて、様々なイベントを開催している。

3 資料収集事業

区の伝統文化にかかわる資料を幅広く系統的に収集している。

4 施設貸出し

区民の文化活動の練習・発表の場として、多目的会議室、企画展示室、ギャラリー、展示用ボックス等の貸出しを行っている。

●「練馬E n (エン) カレッジ」

各課で実施している人材育成事業を分野別専門講座として東ね、カリキュラムや募集窓口等を総合的に案内している。分野別専門講座の受講者等が利用できる「共通講座」、「フォローアップ講座」を実施している。その他、地域活動を始めるきっかけづくりとして練馬区の歴史・自然・文化や地域課題など区の概要を学ぶ「地域講座」を実施している。また、特別講座として、「学ぶことの楽しさ・大切さ」等をテーマにした講演会を実施している。

【練馬E n カレッジ講座実施状況】

28年度

講座名	実施状況
共通講座	3回 52人受講
フォローアップ講座	3回 35人受講
地域講座	11回 延べ158人受講
特別講座	1回 125人受講

注：上記以外に分野別専門講座（18講座）を各所管課で実施



【28年度版「En カレッジ」講座 ラインアップ】
各講座の内容や実施状況等を紹介している。

●生涯学習団体の育成

生涯学習団体は、芸術・文化、市民生活、社会教育、子育て、健康、福祉、レクリエーション、スポーツ等、様々な分野で自主的に学習・スポーツ活動を行っている。28年度末現在、1,484団体が、区に届出されている。

区では、団体の学習・スポーツ活動をより広く情報提供するため、届出名簿一覧表を閲覧できるようにし

ている。

●学習の機会の充実

1 人権学習

現代社会の様々な人権問題に関する学習を、生涯各期にわたり推進するため、人権講座を開催している。

- ・地域ふれあい講座（5回実施、60人が参加）

2 武蔵大学特別履修生

武蔵大学に4月から翌年3月までの1年間、大学生と一緒に授業を履修する特別履修生を派遣している。

修了後、ボランティア活動を行う意思があることを条件に、履修料の一部を区と武蔵大学で負担している。28年度は、26人の履修生を派遣した。

●区民発出前講座

様々な趣味や特技を持つ区民・団体に、講座の企画内容を登録してもらい、地域の団体・サークルに講師として紹介している。13年6月に講座登録を開始し、28年度末現在で、81講座が登録されている。

●学校施設の地域開放推進

学校が地域の核として健全で豊かなコミュニティづくりの場となることを目指して、学校施設を開放している。また、児童の健全育成を目的に区立小学校の校庭を遊び場・スポーツの場として開放している。

1 校庭開放

28年度末現在、全小学校（65校）の校庭を開放している。28年度は、全校で延べ1,194,493人の利用（うち個人利用781,433人、団体利用413,060人）があった。

2 学校図書館開放

地域住民に対して、小学校図書館（室）を開放し、図書の貸出しと読書・学習の場を提供している。

28年度末現在、42校を開放し、蔵書数は262,445冊である。また、28年度は延べ195,577人の利用があり、70,307冊を貸し出した。

また、13年度からは区立図書館資料の検索ができる端末を設置した。28年度時点では、4校で予約・貸出しを実施している。28年度は2,178冊の貸出しがあった。

3 教室開放

小学校の余裕教室を地域住民の身近な学習・文化・レクリエーションの場として開放している。

28年度は、19校で45施設を開放し、2,369件、延べ44,934人の利用があった。

4 学校体育施設の開放

区民がスポーツ活動を身近に行える場として、小・中学校体育施設（体育館・プール）の開放を行っている。

〔利用状況〕 28年度

	実施校数	利用者数（延べ）
学校体育館開放	小・中学校 38校	236,119人
プール開放	小学校 8校（夏休み期間）	4,553人

5 学校施設の一般利用

学校応援団や学校開放運営委員会による施設開放のほかに、学校への事前申請に基づき、区民の一般利用に提供している。

提供する施設は、校庭、屋内運動場、教室などのほか、中学校 18校の第二屋内運動場（格技室）や開進第二中学校と大泉中学校に設置しているセミナーハウスがある。

●生涯学習センター

昭和 28 年に練馬公民館として開館し、平成 24 年 4 月に名称を「生涯学習センター」と変更した。

現在は、生涯学習の中核を担う施設として、学習や文化芸術活動を支援している。また、他施設、他施策との連携による幅広い事業展開や文化芸術・生涯学習の総合的な情報の収集・提供機能の充実を図り、人づくり・地域づくりを総合的に推進している。

〔生涯学習センターの事業実施状況〕 28年度

事業名	実施状況
学びふれあい講座	4講座 延べ313人受講
寿大学（65歳以上対象）	2期 延べ2,751人受講
寿大学通信講座 （60歳以上対象）	書道・俳句の2科目 延べ6,924人受講
	（スクーリング）講師による 直接指導 5回 延べ162人受講
	（書き初め展）1回 書道177点・俳句153句出品
児童合唱団	毎週土曜日練習 演奏会等4回
視聴覚事業	映画鑑賞会 6回 延べ1,481人入場
サークル文化祭	1回 延べ2,544人入場
区民文化祭	1回 延べ11,383人入場
芸術鑑賞会	2回 延べ614人入場
公開講座	7講座（大学4校、高校1校） 延べ634人受講
サポーターズ講座	料理講座10講座 213人受講 一般講座9講座 1,284人受講
座・サポーターズ	・「練馬寄席」12公演 796人入場 ・「音楽塾」12公演 513人入場

〔生涯学習センターの利用状況〕 28年度

	利用件数（件）	利用者数（人）
ホール	423	68,778
第一会議室	569	6,009
第二会議室	499	5,297
第一教室	769	17,596
第二教室	627	7,155
第三教室	649	9,152
和室（大）	614	7,346
和室（中）	476	6,506
和室（小）	470	4,545
美術工芸室	452	5,209
視聴覚室	815	16,810
調理実習室	203	3,057
陶芸室	198	1,196
保育室	343	3,154
合計	7,107	161,810

●生涯学習センター分館

区民が地域の様々な課題等について学び、その成果を地域で活用できるよう支援する拠点として「練馬 En（エン）カレッジ」事業（詳細は 184 ページ参照）を行うほか、各種事業等を実施している。

1 ジュニア・オーケストラ

小学 4 年生から 18 歳までの少年少女を団員として、年 40 回程度練習を行い、学校演奏会と定期演奏会をそれぞれ年 1 回開催している。29 年 3 月現在の団員は 58 人である。

2 弦楽体験教室

小学 4 年生から中学生で弦楽器の未経験者を対象に、6 月から 9 月にかけて、全 9 回で 1 コースの体験教室を開催した。28 年度は延べ 203 人が参加した。

3 区民囲碁大会、区民将棋大会

それぞれ年 1 回開催し、初心者から有段者まで老若男女を問わず楽しく腕を競っている。28 年度の囲碁大会は 95 人、将棋大会は 115 人が参加した。

4 施設貸出し

区民の文化活動の練習・発表の場として、施設の貸出しを行っている。

〔生涯学習センター分館の利用状況〕

28年度

	利用件数 (件)	利用者数 (人)
講座室 1	234	2,348
講座室 2	209	2,556
講座室 3	439	4,108
講座室 4	318	3,522
講座室 5	397	7,083
講座室 6	139	1,311
講座室 7	137	1,104
講座室 8	89	1,695
講座室 9	89	1,786
和室	158	2,146
料理室	36	674
工作室	301	3,003
美術室	353	2,733
音楽室 1	734	10,576
音楽室 2	571	5,891
陶芸室	502	1,547
保育室	97	1,067
合計	4,803	53,150

※：学習室利用人数…6,535人

●向山庭園

庭園を有する和風の施設で、文芸・茶道・華道・囲碁などの活動場所として、会議や学習の会場として、広く区民に親しまれている。

管理運営は指定管理者が行い、年末年始を除く通年開園を実施するなど、サービスの向上に努めている。

〔向山庭園の利用状況〕

28年度

	利用件数 (件)	利用者数 (人)
茶室	573	3,081
和室 (第1)	573	3,918
和室 (第2)	681	4,522
和室 (第3)	547	5,762
多目的室	539	4,246
日本庭園	7	43
庭園見学者	—	18,497
計	2,920	40,069

(2) 読書活動を支援する

【関連資料：「練馬区教育要覧」練馬区教育委員会】

●図書館

区立図書館は、地域の情報拠点として、図書館資料の収集・貸出しを始め、行政情報や地域情報を発信するとともに、区民の読書活動の普及・啓発のため様々な事業を実施している。

また、利用者が求めている資料を的確に探し出し、調査や学習を手助けするためのレファレンスサービスの充実を図っている。

さらに、25年6月に策定した「練馬区立図書館ビジョン」により、図書館運営の基本理念を「情報拠点として区民に役立ち頼りにされ愛される図書館」とし、サービスの充実を図っている。

1 施設の充実

(1) 図書館 (12館)

光が丘、練馬、石神井、平和台、大泉、関町、貫井、稲荷山、小竹、南大泉、春日町、南田中

(2) 分室 (1分室)

南大泉図書館分室 (こどもと本のひろば)

乳幼児から小学校低学年までの子どもたちとその保護者を対象としている。

(3) 図書館資料受取窓口 (4か所)

高野台、豊玉、石神井公園駅、大泉学園駅

予約した資料の受取と返却および利用登録ができる。また、資料の検索・予約ができる (高野台を除く)。29年9月には、北町地区区民館および上石神井南地域集会所の建物内に、受取窓口の増設を予定している。

2 利用の促進

東京都公立図書館調査 (27年度実績) によると、図書館資料の個人貸出資料点数および個人予約資料点数は、ともに23区中第1位となっている。

資料の閲覧や貸出しのほか、季節や社会情勢に沿ったテーマの資料を展示するなど、利用者の読書の幅が広がるよう工夫している。28年度は、普段馴染みのない本にも興味を持ってもらうため、内容が分からないように本を包装した「本の福袋」の貸出しを行った。

また、読書ノートやカードを配布して、読んだ日、タイトルや感想などを自分で記入することにより、読書記録を付けることができるようにした。

このほか、図書館をより身近に感じてもらうため、生活や趣味に関連した講座や講演会、参加型のイベント、バリアフリー映画会や音楽会なども開催した。

3 子どもの読書活動の推進

子どもたちが本に親しみ、生涯にわたり読書習慣を身に付けることができるよう「練馬区子ども読書活動推進計画 (第三次)」を27年9月に策定した。これにより、発達段階に応じた読書環境を整備するため、様々な取組を進めている。

(1) 事業

- ・よみきかせ・おはなし会やおたのしみ会
- ・ブックスタート事業 (赤ちゃんと保護者が絵本を介してふれあえるよう、絵本を手渡す) (28年度4,504セット配付)

- ・「本の探検ラリー」（クイズを解きながら様々な本と出会い、親しむことができる参加型イベント）

(2) ボランティアとの連携

読書活動の担い手の育成に努め、関係団体との連携を図っている。

- ・ボランティアへの講習会の実施
- ・ボランティア団体との協働
- ・地域文庫の活動への助成（28年度16団体835冊）

〔子どもの読書活動推進に関する催し実施状況〕 28年度

催し物名	実施数	参加者数
よみきかせ・おはなし会	911回	20,367人
おたのしみ会	29回	1,488人
子ども読書の日・ こども読書週間記念行事	37回	1,381人
本の探検ラリー (小・中学校開催)	延べ58校	6,676人

4 学校支援

小中学校への団体貸出、ブックトーク（テーマに沿って様々なジャンルから本を紹介する事業）や図書館見学・職場体験の受入れ、学校教職員向けの講習会などを実施し、子どもたちの読書活動を支援している。

また、指定管理者による運営を行う館では学校支援モデル事業として、以下のような支援を行っている。なお、28年度は区内の小中学校67校に対して実施した。

- ・学校図書館に学校図書館支援員を配置
- ・各校の学校図書館運営計画に基づく学校図書館の図書選定の支援や蔵書管理
- ・調べ学習のための資料の提供

5 障害のある方へのサービス

全国の図書館などと連携して点字資料・録音資料の郵送貸出しを行うほか、ボランティアの協力を得て、本や雑誌の録音資料制作や対面朗読サービスを行っている。

また、外出が困難な区内在住の障害者等には、郵送で図書館資料を貸出しするサービスを行っている。

その他、乳幼児や障害児向けの布の絵本の制作や、聴覚障害児も楽しめる手話つきおはなし会を行っている。

〔障害のある方へのサービスの状況〕

28年度

項目	点数等	
製作録音資料数	2,712点	
対面朗読実施回数	1,095回	
外出困難障害者等 資料郵送サービス貸出点数	3,677点	
布の絵本製作数	41点	
催し物名	実施数	参加者数
音訳者養成等講習会	15回	166人
布の絵本製作講習会	4回	76人

6 図書館情報システム

貸出し・返却・予約などの業務を情報システムで行い、年間660万点を超える資料貸出しに対応している。また、資料検索機やパソコン・携帯電話等からの資料検索・予約サービス、Eメールによる予約資料の取置き通知サービス等を実施している。

〔予約状況〕

28年度

項目	点数等
予約点数（個人）	2,146,528点
うちインターネットからの予約点数（個人）	1,507,535点
予約点数に占めるインターネット予約割合	70.2%

〔図書館の所蔵資料〕

28年度末現在

館名	種別			
	図書資料 (冊)	雑誌 (冊)	視聴覚資料 (組)	視覚障害者用資料 (点)
光が丘	319,950	14,627	19,377	6,487
練馬	149,342	4,696	11,131	1,172
石神井	204,222	3,929	7,984	—
平和台	128,985	3,979	7,761	—
大泉	215,782	3,669	8,412	—
関町	116,398	3,291	6,558	—
貫井	129,300	4,368	7,894	—
稲荷山	86,281	3,365	4,943	—
小竹	86,603	2,487	7,765	—
南大泉	72,729	2,019	5,046	—
南大泉分室	24,238	202	63	—
春日町	116,193	2,942	9,658	—
南田中	105,167	2,569	5,616	—
合計	1,755,190	52,143	102,208	7,659

〔図書館の利用状況等〕

28年度

館名	種別	個人利用 登録者数 (人)	団体利用 登録者数 (団体)	来館者数 (人)	貸出数			貸出予約数		
					個人貸出 点数 (点)	団体貸出 点数 (点)	協力貸出 点数 (点)	個人貸出 予約数 (点)	団体貸出 予約数 (点)	協力貸出 予約数 (点)
光が丘		41,852	244	751,316	1,154,394	15,357	4,618	306,698	1,495	2,878
練馬		29,716	135	541,269	636,678	8,175	590	211,666	2,146	844
石神井		26,272	106	365,731	620,133	11,129	806	141,742	2,396	1,025
平和台		15,502	160	278,095	508,570	17,259	442	148,659	7,767	174
大泉		20,574	166	333,940	532,704	19,576	626	133,346	15,629	839
関町		12,922	167	102,925	230,389	5,947	95	157,201	5,167	471
貫井		22,492	77	762,432	586,669	9,844	596	198,498	3,999	784
稲荷山		6,606	89	121,347	194,449	13,964	314	44,877	4,089	394
小竹		12,180	88	245,529	378,398	9,582	295	133,842	3,682	355
南大泉		10,835	85	242,174	427,865	10,480	202	118,234	6,698	236
南大泉分室		2,424	14	68,264	114,190	1,216	11	20,734	47	14
春日町		13,029	81	398,223	507,308	13,310	319	149,095	5,510	412
南田中		6,984	113	232,449	349,939	14,688	282	86,862	2,345	321
全館合計		221,388	1,525	4,441,217	6,241,686	150,527	9,196	1,851,454	60,970	8,747
高野台受取窓口		42	—	—	27,215	—	—	26,164	—	—
豊玉受取窓口		110	—	—	37,260	—	—	36,636	—	—
石神井公園駅受取窓口		279	—	—	130,157	—	—	127,900	—	—
大泉学園駅受取窓口		989	—	—	110,038	—	—	104,374	—	—
合計		222,808	1,525	4,443,694	6,546,356	150,527	9,196	2,146,528	60,970	8,747

〔3〕文化財を保存・活用・継承する

●文化財保護の推進

区には、郷土の歴史や自然を伝える有形、無形の多くの文化財がある。

文化財を守るために、区民一人ひとりの理解と認識を高めることが必要である。区は、かけがえのない文化財を保護・保存するとともに区民に紹介し、文化財に対する理解と認識の向上に努めている。

●文化財の指定・登録

昭和61年3月に制定された練馬区文化財保護条例に基づき、同年12月に学識経験者で構成された練馬区文化財保護審議会を設置している。

区指定・登録文化財は、区が事前調査を行い、文化財保護審議会の答申に基づき、所有者の同意を得て指定・登録される。28年度は新規の指定文化財が1件であった。

(区内の指定・登録文化財については、巻末資料の210～211ページを参照)



〔28年度に新規指定された田中家資料〕
種子屋（たねや）を営んでいた田中家に伝わる資料

●文化財保護のための主な事業

1 埋蔵文化財の調査・保存・活用

開発行為により、埋蔵文化財（遺跡等）の破壊の危険があることから、区では、遺跡等の範囲の確認を行うとともに、その保護・保存に努めている。遺跡消滅のおそれがある場合は、発掘調査等を実施し、記録保存の措置をとっている。

28年度は、遺跡地で工事を行う届出が93件、通知が7件あり、遺跡の有無を確認するための試掘等が67件、発掘調査が2件あった。

出土品の一部を生涯学習センター分館などに展示している。

2 東京文化財ウィーク参加事業

「東京文化財ウィーク」は、都の呼びかけによる、国・都指定文化財の公開を促進する期間である。28年度は10月29日～11月6日までの9日間を中心に、つぎの企画事業を行った。

- ・尾崎遺跡出土品解説会 10月30日 32人参加
また、石神井公園ふるさと文化館で、つぎの企画事業を行った。
- ・「石神井城跡発掘パネル展」10月29日～11月6日
- ・東京9区文化財古民家めぐり
- ・古民家説明会 11月6日 19人参加

3 郷土芸能ねりま座公演

区内で継承されている民俗芸能の普及・発展のために公演会を開催し、祭囃子連が4団体出演した（第17回）。

会場：生涯学習センター 360人参加

4 刊行物の発行

28年度は、つぎの刊行物を発行した。

- ・ねりまの文化財（年3回）
- ・埋蔵文化財調査報告31

5 文化財説明板、道標の設置

身近な文化財に対する区民の理解を深めるため、説明板などの設置を行っている。28年度は、修繕5件を実施し、総数176件となっている。また、道標は29か所設置している。

6 文化財防火デー

昭和24年1月26日、法隆寺金堂壁画が焼損したことをきっかけとして、毎年この日を中心に全国的に文化財防火運動が行われている。

区では、各消防署と連携しながら、文化財愛護のPRに努め、28年度は、南蔵院、長命寺、三宝寺の3か所で、一斉放水等の訓練を行い、578人の参加があった。

●文化財保護推進員

区内の文化財の現況を把握し、区民に文化財保護思想の普及・啓発を図るため、昭和63年2月に文化財保護推進員制度を設けた。

区では、文化財の所有者をはじめ多くの区民の協力のもとに、文化財の保護・保存を行っている。

●尾崎遺跡資料展示室

春日小学校建設の際に調査した「尾崎遺跡」の資料展示室を、昭和58年、同小学校内に開設し、出土品約200点を展示している。平成28年度は延べ76人が来室した。

(4) スポーツ活動を支援する

●スポーツの機会の充実

区は、活気あふれるまち“ねりま”を目指すことを基本理念とし、26年3月に「練馬区スポーツ推進ビジョン」を策定した。

本ビジョンに基づき、区民体育大会、初心者スポーツ教室などを実施している。また、本ビジョンでは、新たに「スポーツが持つ力の地域への活用」を掲げ、地域を活性化させるイベントの実施とスポーツを通じた地域コミュニティを活性化させる取組を進めることを加えた。

〔スポーツ事業〕

28年度

区 分		内容および参加人数（人）	
各 種 大 会	区民体育大会	36種目	19,954
		総合開会式	1,053
	都民体育大会	32種目	561
	都民生涯スポーツ大会	17種目	205
	城北地区競技会	6種目	306
	少年野球大会	64チーム	1,289
	女性スポーツ大会	3種目	1,203
	都民スポレクふれあい大会	3種目	54
	城西ブロックスポーツ交流大会	5種目	272
東京都魚釣選手権大会	フナ釣、ハゼ釣	15	
野 外 活 動	区民歩行会	5月29日実施 三浦半島・城ヶ島	75
		10月29・30日実施 南房総・鋸南	114
	わんぱくキャンプ	7月29～31日実施 武石巣栗キャンプ場	68
初心者スポーツ教室	30種目73教室	5,492	
夏休み水泳教室	3校	163	
少年少女スポーツふれあいひろば	2月18日実施	143	
体育の日記念行事	10月10日実施 総合体育館ほか7会場	25,215	
ねりま光が丘ロードレース	11月13日実施	1,940	

●地域スポーツ指導者の育成

区では、スポーツ実施率をさらに高めるため多様なスポーツへの要望に応じられるよう、質の高い指導者の育成と確保に努めている。

1 スポーツ推進委員

地域スポーツ推進のために、事業実施に係る連絡調整や実技指導、その他スポーツに関する指導および助言を行うことを目的に、29年4月1日現在、31人のスポーツ推進委員を委嘱している。

主な活動として、年2回の区民歩行会や小学生を対

象としたわんぱくキャンプなど、地域に向けて、様々なイベントを企画・実施している。また、近年では、区内スポーツ関係団体が連携・協力して実施するスポーツイベントの連絡調整および運営や障害者スポーツの普及・紹介も行っている。

2 スポーツリーダー養成講習会

スポーツ指導者は、専門知識や経験に基づく高い指導能力が求められる。

区では、スポーツリーダー養成講習会を開き、修了者に対して認定を行っている。28年度末現在、674名が認定を受けている。

●総合型地域スポーツクラブの育成

24年3月に策定された、国の「スポーツ基本計画」では、「総合型地域スポーツクラブ（区の略称SSC）」の育成を重点施策としている。

総合型地域スポーツクラブ（SSC）は、

- ・地域の人々が自主的に会費で運営する
- ・クラブの活動拠点となる施設を持っている
- ・複数種目の活動が楽しめる
- ・子どもから高齢者まで幅広い年齢層が交流できる
- ・クラブが主催するスポーツ事業が地域に提供される

などを特徴とした地域スポーツクラブづくりを目指している。

現在、7か所の区立体育館を活動拠点とし、会員制による自立した運営を行っている。

〔総合型地域スポーツクラブ（SSC）〕 28年度

クラブ名 (通称名)	設立年月日	主催・共催 事業参加者数 人
NPO法人SSC谷原アルファ (SSC谷原)	平成14年 8月24日	22,689
NPO法人スポーツコミュニティー桜 (SSC桜台)	平成14年 9月 5日	7,855
NPO法人スポーツクラブホワイエ 上石神井 (SSC上石神井)	平成14年12月17日	16,071
NPO法人総合型地域スポーツ クラブ平和台 (SSC平和台)	平成14年10月 4日	27,875
NPO法人光が丘総合型地域 スポーツ・レクリエーションクラブ (SSC光が丘)	平成14年 9月10日	9,473
NPO法人コミュニティネットSSC 大泉 (SSC大泉)	平成14年 8月13日	57,443
NPO法人豊玉・中村地域スポーツクラブ クラブブラッツ (SSC豊玉・中村)	平成21年 2月21日	25,261

●スポーツ施設の整備

区民のスポーツ活動参加を促進するために、区ではスポーツ施設の整備を図り、活動の場の確保を進めている。28年度は、関越自動車道高架下に大泉運動場を新設したほか、大泉さくら運動公園の多目的運動場に照明塔を設置する工事を行った。

28年度末現在、区のスポーツ施設は、体育館7館、プール7か所、成人野球場6面、少年野球場6面、庭球場30面、多目的運動場3面、陸上競技場1面、ゲートボール場2面、多目的広場3か所、スポーツ広場1か所である。

〔屋外施設の利用状況〕 28年度

区分	施設名(面)	利用数 (人)
庭球場	豊玉中公園庭球場	3 22,107
	高野台運動場(庭球場)	4 16,829
	びくに公園庭球場	2 5,296
	土支田庭球場	7 41,839
	夏の雲公園庭球場(※1)	4 26,797
	大泉学園町希望が丘公園運動場 (庭球場)	3 14,015
	石神井松の風文化公園(庭球場)	7 44,883
成人 野球場	学田公園野球場	1 13,734
	高野台運動場(野球場)	1 8,839
	北大泉野球場	2 20,115
	東台野球場	2 17,568
少年 野球場	荒川河川敷野球場(硬式少年野球)	3 31,739
	練馬総合運動場(野球場)	2 28,811
運動場等 (サッカー・ ラグビー・ グラウンド ゴルフ等)	練馬総合運動場	32,108
	大泉さくら運動公園多目的運動場(※2)	23,011
	大泉学園町希望が丘公園運動場 (多目的運動広場)	12,032
	石神井松の風文化公園(多目的広場)	28,356
	びくに公園多目的広場	10,733
	総合体育館東側多目的広場	942

※1：夏の雲公園庭球場は人工芝張り替え工事のため28年11月1日から29年2月28日まで休場

※2：大泉さくら運動公園多目的運動場は照明塔設置工事のため28年8月1日から29年3月31日まで休場

〔体育館の利用状況〕

(単位：人) 28年度

施設名 区分	総合体育館	桜台体育館	上石神井体育館	平和台体育館	大泉学園町 体育館	光が丘体育館	中村南スポーツ 交流センター
個人利用	41,924	9,877	52,083	53,146	48,233	43,088	38,823
登録団体利用	50,802	27,095	26,853	21,415	19,301	24,370	18,678
連盟・SSC	35,877	2,503	5,695	22,711	20,565	32,870	23,435
大会・事業等	18,748	3,983	5,705	5,383	7,123	25,112	1,039
自主事業	—	—	6,355	3,383	4,671	6,185	30,612
健康体力相談等	—	—	—	—	—	260	—
トレーニング室	33,456	—	39,689	29,581	38,888	78,339	62,881
合計	180,807	43,458	136,380	135,619	138,781	210,224	175,468

注：①トレーニング室には説明会参加者を含む
②光が丘体育館の個人利用には屋内ランニングコース利用者を含む

〔プールの利用状況〕

(単位：人) 28年度

施設名 区分	上石神井 体育館 温水プール	平和台体育館 温水プール	大泉学園町 体育館 温水プール	光が丘体育館 温水プール	中村南スポーツ 交流センター 温水プール	三原台 温水プール	石神井プール
個人利用	84,008	79,559	73,233	130,088	137,970	74,887	45,083
登録団体利用	10,041	3,376	9,572	12,199	6,812	16,994	—
連盟・SSC	2,788	5,356	13,650	2,690	15,383	4,840	—
大会・事業等	2,417	729	1,348	4,753	3,009	900	—
自主事業	1,977	3,872	56	1,988	6,946	2,310	—
障害者専用コース	788	820	1,041	1,247	1,250	698	—
合計	102,019	93,712	98,900	152,965	171,370	100,629	45,083

●練馬こぶしハーフマラソン

区民の健康・体力のさらなる増進と地域スポーツの振興、練馬の魅力の発信を目的として、26年度から開催している。

第3回大会は「練馬区独立70周年記念事業」として29年3月26日に開催し、新たに小学生親子と中学生を対象としたマイルランを実施した。

満開のこぶしや桜を楽しみながら幹線道路を走行できるコースや、沿道からの途切れない応援が大会の特色であり、参加者から高い評価を得ている。



〔練馬こぶしハーフマラソン
2017 ロゴ〕
区の木である「こぶし」の
花がデザインされている。

●ユニバーサルスポーツフェスティバル

障害者スポーツの普及を促すとともに、スポーツを通じて、障害のある方とない方が交流し、相互理解と共生の地域社会づくりを推進することを目的として、28年10月19日に、第1回「ユニバーサルスポーツフェスティバル」を光が丘体育館で開催した。



〔ユニバーサルスポーツ
フェスティバルポスター〕

〔開催状況〕

	第1回	第2回	第3回
開催日	27.3.29	28.3.27	29.3.26
開催時天気	晴	晴	雨
エントリー数	5,248人	5,240人	5,239人
当日出走者数	4,674人	4,602人	4,021人
完走者数 (完走率)	4,464人 (95.5%)	4,478人 (97.3%)	3,899人 (97.0%)

注：オープン参加含む
第3回マイルラン参加者は含まない